

殺虫剤

カスケード[®]乳剤

殺虫剤分類 **15**

有効成分

フルフェノクスロン 10.0%

補助成分

メチルナフタレン(PRTR・1種) 15.9%

®=BASF社の登録商標

登録番号：第18500号

性 状：黄色澄明可乳化
油状液体

毒 性：普通物*

危 険 物：三石・非水溶性・Ⅲ

有効年限：5年

包 装：250ml×20本
500ml×20本



*普通物：毒劇物に該当しないものを指している通称

■特長

- 適用作物が多く、100以上の作物に使えます。
- 幅広い害虫に活性があり、葉菜類に多いチョウ目害虫はもちろん、ネギアザミウマやハモグリバエに対する同時防除も期待できます。
- 害虫への基礎活性が高いため、長期間にわたり害虫の発生を抑制します。
- 訪花性昆虫(ハチ)や天敵類への影響が少なく、総合的害虫管理(IPM)に適した薬剤です。
- 昆虫表皮の構成要素であるキチン質の合成を阻害し、害虫を枯死させます。

■適用害虫と使用方法

(2022年10月26現在)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルフェノクスロンを含む農薬の総使用回数
りんご	ナミハダニ リンゴハダニ	2000倍	200~ 700ℓ /10a	収穫14日 前まで	2回以内	散布	2回以内
	キンモンホソガ ギンモンハモグリガ	2000~ 4000倍					
	ハマキムシ類	2000~ 6000倍					
	ヨモギエダシャク	4000倍					
なし	ハダニ類 ハマキムシ類	2000倍					
もも	ハダニ類						
	ハマキムシ類	4000倍					
	ももハモグリガ	2000~ 4000倍					

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルフェノクスロンを含む農薬の総使用回数
ネクタリン	ハダニ類	2000倍	200～700ℓ/10a	収穫21日前まで	2回以内	散布	2回以内
	ハマキムシ類	4000倍					
	モモハモグリガ	2000～4000倍					
小粒核果類	ケムシ類	2000～4000倍		収穫14日前まで			
おうとう	ハマキムシ類 ヒメシロモンドクガ	4000倍		収穫7日前まで			
かんきつ	ヨモギエダシャク						
	ミカンハモグリガ チャノキイロアザミウマ ミカンサビダニ	2000～4000倍					
	ミカンハダニ	1000～2000倍					
かき	カキノヘタムシガ ケムシ類 ハマキムシ類 カキクダアザミウマ	2000～4000倍		収穫14日前まで			
マンゴー	チャノキイロアザミウマ	2000倍		収穫3日前まで			
ぶどう	ハスモンヨトウ	4000倍	収穫30日前まで				
キャベツ	コナガ アオムシ タマナギンウワバ ハスモンヨトウ	2000～4000倍	100～300ℓ/10a	収穫7日前まで	無人航空機による散布		
	ヨトウムシ シロイチモジヨトウ ハイマダラノメイガ アザミウマ類 オオタバコガ	16～24倍	0.8～1.6ℓ/10a				
		32倍	1.6～3.2ℓ/10a				
はくさい	コナガ アオムシ ヨトウムシ	2000～4000倍	100～300ℓ/10a	散布	無人航空機による散布		
		16～24倍	0.8～1.6ℓ/10a				
		32倍	1.6～3.2ℓ/10a				
だいこん	アオムシ コナガ ハイマダラノメイガ	2000～4000倍	100～300ℓ/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布 無人航空機による散布	3回以内
		16～24倍	0.8～1.6ℓ/10a				
		32倍	1.6～3.2ℓ/10a				

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルフェノクスロンを含む農薬の総使用回数	
はつかだいこん	アオムシ コナガ ハイマダラノメイガ	4000倍	100～ 300ℓ /10a	収穫7日 前まで	1回	散布	1回	
わさびだいこん	コナガ	2000～ 4000倍			3回以内		3回以内	
非結球 あぶらな科 葉菜類 (なばな類を除く)	コナガ アオムシ マメハモグリバエ	2000倍			2回以内		2回以内	
なばな類	ヨトウムシ類 ハモグリバエ類	2000～ 4000倍			3回以内		3回以内	
ブロッコリー	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ アザミウマ類 ヨトウムシ	4000倍	1.6ℓ /10a	収穫7日 前まで	2回以内	無人航空機 による散布	2回以内	
		32倍						1.6～ 3.2ℓ /10a
		64倍						
レタス 非結球レタス くきちしゃ	ハスモンヨトウ オオタバコガ ヨトウムシ	4000倍	100～ 300ℓ /10a	収穫3日 前まで	3回以内	散布	3回以内	
トマト	ハスモンヨトウ トマトサビダニ コナジラミ類				2000～ 4000倍		4回以内	4回以内
	マメハモグリバエ オオタバコガ ミカンキイロアザミウマ トマトハモグリバエ							
ミニトマト	ハスモンヨトウ トマトサビダニ コナジラミ類	4000倍	100～ 300ℓ /10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内	
	マメハモグリバエ オオタバコガ	2000～ 4000倍						
	ミカンキイロアザミウマ トマトハモグリバエ	2000倍						
なす	マメハモグリバエ ハダニ類	2000～ 4000倍	4回以内	4回以内				
	ミナミキイロアザミウマ カメムシ類 オオタバコガ							
ピーマン	ミナミキイロアザミウマ	4000倍	3回以内	3回以内				
ししとう	オオタバコガ	2000倍						
甘長とうがらし	ミナミキイロアザミウマ	4000倍						

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルフェノクスロンを含む農薬の総使用回数
せり科葉菜類 (みつば、パセリ、セルリーを除く) ゆきのした ふだんそう モロヘイヤ 食用なでしこ 食用ペンタス	ハスモンヨトウ	4000倍		収穫7日 前まで	2回以内	散布	2回以内
パセリ					1回		1回
セルリー	マメハモグリバエ コナジラミ類 ハスモンヨトウ		100～ 300ℓ /10a	収穫14日 前まで	3回以内	散布	3回以内
みつば	ハスモンヨトウ ハダニ類 キアゲハ	2000倍		収穫7日 前まで 但し、伏せ 込み栽培 は伏せ込 み前まで	2回以内		2回以内
ねぎ	シロイチモジヨトウ ネギハモグリバエ ネギアザミウマ クロバネキノコバエ類	4000倍		収穫14日 前まで	3回以内	無人航空機 による散布	3回以内
	シロイチモジヨトウ ネギハモグリバエ ネギアザミウマ	32倍	1.6ℓ /10a				
		64倍	3.2ℓ /10a				
たまねぎ	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ			収穫3日 前まで		散布	
にら	アザミウマ類	4000倍			2回以内		2回以内
いちご	ハスモンヨトウ アザミウマ類 クロバネキノコバエ類			収穫前日 まで	3回以内		3回以内
きゅうり	ミナミキイロアザミウマ	2000～ 4000倍	100～ 300ℓ /10a		4回以内	4回以内	散布
	ウリノメイガ トマトハモグリバエ	2000倍					
すいか	ミナミキイロアザミウマ オオタバコガ マメハモグリバエ	2000～ 4000倍		収穫7日 前まで	3回以内		3回以内
	シロイチモジヨトウ	4000倍					
メロン	ミナミキイロアザミウマ	2000～ 4000倍					
	タバココナジラミ類 (シルバーリーフコナジラミを含む) トマトハモグリバエ	2000倍					

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルフェノクスロンを含む農薬の総使用回数
かぼちゃ	トマトハモグリバエ	2000倍	100～300ℓ /10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
		16倍	0.8ℓ /10a				
		16～32倍	1.6ℓ /10a			無人航空機による散布	
		32～64倍	3.2ℓ /10a				
うり類 (漬物用) (しろうり、とうがんを除く)	ミナミキイロアザミウマ	2000倍	100～300ℓ /10a	収穫3日前まで	1回	散布	1回
しろうり	ウリノメイガ ミナミキイロアザミウマ			収穫前日まで			
とうがん	ミナミキイロアザミウマ			収穫3日前まで	3回以内		3回以内
にがうり	マメハモグリバエ ウリノメイガ アザミウマ類	2000～4000倍	100～300ℓ /10a	収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内
ズッキーニ	トマトハモグリバエ	2000倍					
オクラ	オオタバコガ ハスモンヨトウ	2000～4000倍		2回以内	2回以内		2回以内
未成熟 とうもろこし	ツマジロクサヨトウ						
	アワノメイガ オオタバコガ						
てんさい	ヨトウムシ	2000～4000倍		25ℓ /10a	収穫7日前まで		4回以内
	シロオビノメイガ テンサイモグリハナバエ カメノコハムシ ナミハダニ アシグロハモグリバエ	4000倍					
	ヨトウムシ	1000倍					
	ヨトウムシ シロオビノメイガ テンサイモグリハナバエ カメノコハムシ ナミハダニ アシグロハモグリバエ	32～64倍	1.6ℓ /10a			無人航空機による散布	
アスパラガス	ハスモンヨトウ オオタバコガ アザミウマ類	4000倍	100～500ℓ /10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
しゅんぎく	マメハモグリバエ アザミウマ類 ハスモンヨトウ ヨトウムシ	2000～4000倍	100～300ℓ /10a	収穫7日前まで			

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルフェノクスロンを含む農薬の総使用回数						
ほうれんそう	ハスモンヨトウ マメハモグリバエ シロオビノメイガ ホウレンソウケナガコナダニ アシグロハモグリバエ	4000倍	100～ 300ℓ /10a	収穫3日 前まで	3回以内	散布	3回以内						
そらまめ 未成熟そらまめ	ハスモンヨトウ マメハモグリバエ	2000倍		収穫前日 まで				2回以内	無人航空機 による散布	2回以内			
さやいんげん	ハスモンヨトウ マメハモグリバエ	4000倍 2000倍									収穫7日 前まで	無人航空機 による散布	2回以内
さやえんどう 実えんどう	シロイチモジヨトウ ハスモンヨトウ	4000倍			無人航空機 による散布		2回以内						
未成熟ささげ つるむらさき	ハスモンヨトウ	3000倍											
未成熟ふじまめ	ハスモンヨトウ ウコンノメイガ カメムシ類	4000倍			無人航空機 による散布		2回以内						
えだまめ	ハスモンヨトウ ウコンノメイガ カメムシ類	4000倍									無人航空機 による散布	2回以内	
だいず	ハスモンヨトウ ウコンノメイガ カメムシ類 ハダニ類 マメシンクイガ フタスジヒメハムシ ダイズサヤタマバエ ツメクサガ	32倍		無人航空機 による散布	2回以内								
あずき	アズキノメイガ ハスモンヨトウ ハダニ類	4000倍					無人航空機 による散布	2回以内					
		16～ 32倍							無人航空機 による散布	2回以内			
		32～ 64倍		無人航空機 による散布	2回以内								
みょうが (莖葉)	ハスモンヨトウ ハダニ類	2000倍					100～ 300ℓ /10a	みょうが(花穂) の収穫前日まで 但し、花穂を収 穫しない場合 にあっては開 花期終了まで	3回以内	散布	3回以内		
みょうが (花穂)			収穫前日 まで	散布、 但し花穂の 発生期には マルチフィ ルム被覆に より散布液 が直接花穂 に飛散しな い状態で使 用する									

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルフェノクスロンを含む農薬の総使用回数	
しそ(花穂) しそ科葉菜類 (バジルを除く) タラゴン 食用トレニア	ハスモンヨトウ	4000倍	100～ 300ℓ /10a	収穫3日 前まで	2回以内	散布	2回以内	
バジル	ハスモンヨトウ マメハモグリバエ							
にんじん	ヨトウムシ クロバネキノコバエ類							
かんしょ	ハスモンヨトウ ナカジロシタバ	16～ 32倍	0.8ℓ /10a	収穫7日 前まで		無人航空機 による散布		
		32～ 64倍	1.6ℓ /10a					
食用ミニバラ	ミカンキイロアザミウマ	2000倍	100～ 300ℓ /10a	収穫3日 前まで		2回以内		2回以内
きく(葉)	アザミウマ類 ハスモンヨトウ	4000倍		収穫14日 前まで				
食用ぎく	マメハモグリバエ ミカンキイロアザミウマ	2000倍		収穫7日 前まで				
食用さくら (葉)	アザミウマ類	4000倍	200～ 700ℓ /10a	収穫7日 前まで		2回以内		散布
茶	チャノコカクモンハマキ チャノホソガ チャノミドリヒメヨコバイ チャハマキ ヨモギエダシャク チャノキイロアザミウマ チャノホコリダニ チャノナガサビダニ ツマグロアオカスミカメ チャトゲコナジラミ		200～ 400ℓ /10a	摘採7日 前まで				
さつき	ツツジグンバイ チュウレンジハバチ	2000倍	100～ 300ℓ /10a	発生初期	3回以内	散布	3回以内	
きく ガーベラ	マメハモグリバエ ミカンキイロアザミウマ							
ばら	ハダニ類							1000倍
	ミカンキイロアザミウマ	2000倍						
宿根かすみそう	シロイチモジヨトウ	2000倍	100～ 300ℓ /10a	発生初期	3回以内	散布	3回以内	
スターチス	ハスモンヨトウ							
ソリダゴ	シロイチモジヨトウ ハスモンヨトウ							
宿根アスター	シロイチモジヨトウ							
はばたん	コナガ							

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルフェノクスロンを含む農薬の総使用回数
けいとう	シロオビノメイガ	2000倍	100～ 300ℓ /10a	発生初期	3回以内	散布	3回以内
カーネーション ほおずき	タバコガ						
りんどう	リンドウホソハマキ	4000倍	100～ 700ℓ /10a				

マイナー作物等の登録拡大に伴いグループ化した作物名

グループ化した作物名	含まれる作物(品種)
小粒核果類	あんず、うめ、すもも
非結球レタス	かきちしゃ、サラダ菜、立ちちしゃ、美味タス、リーフレタス
せり科葉菜類	あしたば、キャラウェイ(葉)、きんさい、コリアンダー(葉)、せり、セルリー、チャービル、ディル(葉)、とうき(葉)、パセリ、はまぼうふう(葉)、フェンネル(葉)、ぼたんぼうふう、みつば
非結球あぶらな科葉菜類	あざみな、あじみな、あぶらな、飯田冬菜、潮江菜、海野(莖葉)、大高菜、大山そだち、カーボロネロ、かぶな、かほくな、からしな、ケール、ケールッコラ、こまつな、さがみグリーン、さめきな、四川搾菜(莖葉)、千宝菜、タアサイ、体中菜、たかな、食べて菜、チンゲンサイ、チンゲンルッコラ、てごろ菜、なずな、なばな類、のざわな、パクチョイ、畑わさび、畑わさび(根莖)、畑わさび(葉)、非結球はくさい、非結球メキャベツ、べんり菜、みずな、餅菜、山形みどりな、ラファノブラシカ、ルッコラ、わさびな 作物群内の作物間での交配種は、これらの作物群に含まれる。 <i>Brassica rapa</i> 、 <i>B. oleracea</i> 、 <i>B. juncea</i> 又はこれらの交配種で、非結球の莖葉又は莖葉及び花蕾を収穫するものも含まれる(根菜類、結球あぶらな科葉菜類、はなやさい類及びあぶらな科莖野菜に含まれる作物は除く。)
なばな類	あさまこな(朝熊小菜)、あすっこ、アレッタ、おおさきな(大崎菜、芹田菜)、太田かぶ(やる菜)、オータムポエム(アスパラ菜、愛味菜)、大月菜、大野菜、かいらん、かきな(かき菜、宮内菜、宮崎菜、C O菜、川流れ菜、五月菜、芯切菜)、勝山水菜(平泉寺水菜、郡水菜、さんまい水菜、北市水菜)、くきたちな(会津莖立菜、カブレ菜、縮緬莖立菜)、ケールッコラ(なばな的栽培)、こうさいたい(紅葉苔)、こまつな(なばな的栽培)、さいしん(菜芯、油菜芯)、三景雪菜、四川児菜(子持たかな、祝蕾)、たべたい菜、チーマデラーパ、チンゲンサイ(なばな的栽培)、チンゲンルッコラ(なばな的栽培)、摘菜花、つぼみな(つぼみ菜、三陸つぼみ菜、あでやかつぼみ菜)、なばな(なのはな、はなな)、のらぼうな(のらぼう菜)、博多蕾菜、はくさい(なばな的栽培)(ふくたち)、はたけな(畑菜)(なばな的栽培)、はなっこりー、みずかけな(水掛菜)、めいけな(女池菜、新潟なばな、角田冬菜、新潟小松菜)
しそ科葉菜類	えごま(葉)、オレガノ、しそ、セージ、タイム、バジル、はっか、マジョラム、レモンバーム、ローズマリー
うり類(漬物用)*	赤毛ウリ、食用ひょうたん、食用へちま、しろうり、漬物用すいか、漬物用まくわうり、漬物用メロン、とうがん、はやとうり、ゆうがお

*うり類(漬物用)は従来の作物群の作物名

農薬登録における作物群の作物名について(2021年1月14日改正)「農薬の適用病害虫の範囲および使用方法に係る適用作物等の名称について」(2019年3月29日付け30消安第6281号農林水産省消費・安全局農産安全管理課長通知)農林水産消費安全技術センターホームページをご参照ください。
<http://www.acis.famic.go.jp/shinsei/6281.pdf>

表の使用に際しては以下の事項に留意してください。

注1 現在、農薬の適用作物には含まれていない作物を含みます。適用作物に含まれていない作物については、農薬登録時にその名称が変更される場合があります。

注2 品種名及び栽培条件(施設栽培等)等については省略している場合がありますが、農薬登録時に品種名又は栽培条件等の指定がある場合は、当該品種又は栽培条件等にのみ使用できるものです。

⚠ 効果・薬害等の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤は、植物体上での浸透移行性がないため、葉裏にもよくかかるように散布してください。
- 本剤は、幼虫の脱皮を阻害して、やがて死亡させる性質をもつ薬剤であるので、幼虫期になるべく早く散布してください。
- ボルドー液との混用および近接散布は、ハダニ類への効果を低下させるおそれがあるので、両剤の散布間隔を十分あけて使用してください。
- てんさいに対して希釈倍数1000倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の地上液剤散布装置を使用してください。
- はくさいに使用する場合、幼苗期に他の農薬と混用すると、薬害を生じるおそれがあるので、混用は行わないでください。
- なすに使用する場合、「千両2号」、「みず茄子」では果実に薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。また、浸透性を高める効果のある展着剤の加用は、なすに薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
- 本剤を宿根かすみそうに使用する場合、開花期での散布は薬害発生のおそれがあるのでさけてください。
- おうとうに使用する場合、果実肥大期以降の散布は薬害が発生するおそれがあるのでさけてください。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着するおそれのある場所では使用しないでください。
- 本剤散布後にマルハナバチを放飼する場合は、マルハナバチの幼虫に影響を及ぼすことがあるので注意してください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせ調節してください。
- 本剤は自動車や壁などの塗装面に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 本剤を無人航空機で散布する場合は、次の事項に注意すること。
 - ・ 散布機種に適合した散布基準に従って実施してください。
 - ・ 散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ・ 散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - ・ 散布薬液の飛散による他の分野への影響に注意し、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。

〈小粒核果類、非結球レタス、せり科葉菜類、非結球あぶらな科葉菜類、なばな類、しそ科葉菜類、うり類(漬物用)について〉

- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

⚠ 安全使用上の注意

- 誤飲などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせてください。
- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布液調製時及び散布の際は保護眼鏡、農薬用マスク、不浸透性手袋、ゴム長靴、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意してください。
- 漏出時は、保護具を着用し布・砂等に吸収させ回収してください。
- 移送取扱はていねいに行ってください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。

魚毒性…水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。

無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。

使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。

散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。

また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管…火気をさけ、直射日光が当たらない低温な場所に密栓して保管してください。

さらに詳しい製品情報はこちらから

※QRコードを読み込む、
またはクリックしてください。

